

## 京都の世界遺産

嵯峨乃やのかわら版では、世界遺産である京都をご紹介します。

### 京都の文化世界遺産シリーズ その13



## 東寺 (とうじ)

公称では教王護国寺 (きょうおうごこくじ) といいます。平安京鎮護のための官寺として建立が始められた後、嵯峨天皇より空海 (弘法大師) に下賜され、真言密教の根本道場として栄えてきました。

東寺には、数々の国宝や文化財があります。1486年に、ほとんどの建物を消失しましたが、豊臣家や徳川家が援助をして、再建しています。国宝にもなっている金堂 (こんどう) は、1603年に豊臣秀頼によって再建されたものです。とても大きな建物で、広大な中には薬師三尊像が置かれています。この像は、2.9メートルもあり、見る者を圧巻させます。桃山時代に作られたとされています。そして、京都のシンボルともなっている東寺の五重塔 (国宝) は日本一の高さを誇る木造塔です。高さ54.8メートルで、現在の五重塔は1644年に徳川家光が再建した5代目になります。御影堂 (みえいどう) は、住宅風の仏堂で、国宝としての名称は「大師堂」(だいしどう) といいます。秘仏である不動明王像があります。国宝でもある弘法大師坐像もあり、毎朝6時に朝食を供える生人供 (しょうじんく) があり、多くの参拝者や観光客でにぎわいます。

また、毎月弘法大師の命日である21日に行われている弘法市は、地元の人には「弘法 (こうぼう) さん」と呼ばれて親しまれています。早朝5時頃から日没まで開催されていて、1200~1300店もの店が建ち並び、毎月訪れる人の数は20万人にもものぼります。境内には、所狭しと店が並びます。祭の縁日のようなものの他に、洋服や植木、食材を売る店など様々なお店がでます。



GETALS (ゲタル) とは、下駄とサンダルを合わせた造語です。日本の伝統としての下駄と

斬新な鼻緒を融合させたまったく新しい下駄を開発しました。この GETALS は、意匠登録、商標登録をしています。足の指を刺激することにより冷え性の緩和、五本指に開放することで脚の筋肉の刺激や運動につながります。健康にいい下駄です。

